

“もったいない”を楽しもう！ リユースのある暮らし

誰にでも できる！ リユースの取り組み

市では、ヤクルト山陽と連携して、“まだ使える”不用品の回収を行っています。これは、自治体の負担を軽くしながら、地域の「捨てる」を減らし、循環型社会を目指す取り組み。回収した“まだ使える”ものは、「メルカリShops」で販売しています。

「もったいない」という気持ちを大切に、まずは気軽に参加してみませんか？

ヤクルトセンターでの店頭回収

市内のヤクルトセンターの店頭へ、家庭の不要品を持参してください。

対象商品

- 物品サイズの3辺合計が2メートル以内のもの
- リユース可能なもの

〒ヤクルト安芸高田センター
(吉田町山手1025-1)
開9:30～15:00 困木曜

回収できないもの (リユースできないもの)

- 長く使用したものや汚れがあるもの
- 危険物(安全性に問題があるもの)
- 法的に問題があるもの など

申し込み

ヤクルト安芸高田センター ☎43-2688

「メルカリ」への出品に挑戦！ 「メルカリ教室」で学ぼう

メルカリ教室は、フリマアプリ「メルカリ」を使った出品の手順を学べる教室です。

回 毎週火曜・金曜10:00～、13:30～

〒ヤクルト安芸高田センター(吉田町山手1025-1)

メルカリ認定講師が丁寧に指導

ヤクルト山陽のスタッフが講師を務め、アプリのダウンロードから出品方法まで、やさしく解説します。

少人数制で質問しやすい雰囲気

スマートフォン操作が不安な方やシニアの方にも安心。分からないことはすぐに質問できます。

スマホを使って実践的に学べる

実際にスマートフォンを操作しながら学ぶので、その場で理解・体験ができます。

家の不要品を実際に出品体験

持参した不要品を使い、撮影の仕方・説明文の書き方・梱包・発送方法などを学びます。

参加費
無料

参加特典

- メルカリ教室オリジナルテキスト
- Yakult1000/ヤクルトオリジナルグッズ

ヤクルト山陽
メルカリShops



これまでに、こんなものが売れています！



申し込み

[電話]

メルカリ教室申込

☎080-2927-1169

(担当/ヤクルト山陽 天野)

[ホームページ]



※出張メルカリ教室も行っています。少人数でも出張しますので、気軽に申し込んでください。

ごみの再利用に関するお知らせ

◆ コンポストバッグの講習会

竹チップを利用したコンポストバッグの使い方を学びます。さらにSDGsを学べるゲームやごみの分別資料も用意しています。参加者にはコンポストバッグをプレゼント！

開5月24日(土) 10:00～12:00

開クリスタルアージョ

申込受付期間 5月1日(木)～22日(木)

申込窓口 社会環境課 環境生活係

◆ 4月から乾電池やボタン電池を回収する場所ができました

[回収場所]

各町文化センター、各支所

開社会環境課 環境生活係 ☎お太助フォン 42-1126

今日の

市長コラム

農業分野で始まった脱炭素(カーボンニュートラル)の取り組み

こんにちは。市長の藤本悦志です。

国は、2050年までに「温室効果ガス」を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」社会の実現に向けた取り組みを進めています。本市においても、市の基幹産業である農業分野において、脱炭素に向けた先進的な取り組みが始まりました。

高宮町の農業法人「株式会社 Rev0(レボ)」と「ひろぎんホールディングス」が県内で初めて農業分野でのJ-クレジット認証契約に係る協定を締結し、脱炭素に向けた取り組みが進められています。この協定に基づく取り組みの内容は、農家が水田の中干期間を従来より延長することで抑制・削減できる温室効果ガスの排出量を数値化し「カーボンクレジット

ト」として企業に販売するというものです。企業側が努力してもどうしても削減できない温室効果ガスの排出量を、カーボンクレジットを購入することで相殺できるという仕組みで、農家にとっては環境負荷低減の活動につながることも農業外収益の確保も見込まれ、地域の活性化につながる事が期待されています。

市はこうした先進的な取り組みを参考にしながら、2025年度に脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの排出量削減を推進するための計画を策定する予定です。市民や事業者の皆さまと共に、カーボンニュートラルへの歩みを進めていきたいと考えています。

生徒が決める100万円事業 (高校応援補助金)

昨年初めて実施した「生徒が決める100万円事業」を、今年も引き続き行います。昨年の経験を生かし、どんなプロジェクトに挑戦するのか…？

今後とも両校の取り組みを紹介していきますので、そのアイデアと行動力にぜひ注目してください！

吉田高校

まちが秘めている魅力と共に
発展していく高校を目指して



生徒会の皆さん

[事業内容] 文化祭と吉高マルシェの規模拡大

昨年は、文化祭の充実やくつろぎスペースの創設に活用しました。今年は文化祭に加え、2023年から開催している「吉高マルシェ」の規模を拡大し、より多くの方に楽しんでいただけるイベントに発展させたいと考えています。この企画を通して、地域とのつながりを深め、まちの活性化にも貢献したいです。さらに、こうした取り組みを「吉田高校ブランド」として広く知ってもらい、定着させていくことも目指しています。

向原高校

生徒の元気と笑顔を発信し
未来へとつながるフェスを



昨年の「魂フェス」の様子

[事業内容] フェスを開催

昨年開催した「魂フェス」と同様のフェスを、今年も実施したいと考えています。校庭にキッチンカーを呼び、ゲストによるステージも実施したいです。現在、向原高校の生徒数が減少しており、このままでは学校の存続が危ぶまれる状況です。イベントを通じて生徒の生き生きとした姿を伝え、向原高校に対して関心を持ってもらい、入学者数をなんとか増やしたい。生徒数60人以上の活気ある学校へと成長させたいと考えています。

開政策企画課 地方創生推進係 ☎お太助フォン 42-5612